

将来の交通体系形成に向けた 基本方針について

1. まちづくりにおける将来像について

(1) 目指すまちの姿

○上位計画である「岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）」において、様々な人が出会い交流し、そこに子どもたちの笑顔、若者たちや働く人のエネルギー、高齢者や障害者の生きがいなどがあふれ、人もまちも元気で、躍動感のあるまちを目指し「元気あふれる躍動都市 岸和田」を将来像としている。

目指すまちの姿

元気あふれる躍動都市 岸和田

私たちのまち岸和田は、先人たちの英知と努力により、泉南地域の経済・文化・行政の中心的都市として着実な成長を続け、多様性をもった調和型都市へと発展してきました。

また、21世紀を迎え、少子高齢化の進行、人口減少社会の到来、地域経済の停滞、情報技術の急速な発達、地球環境問題の顕在化、安心・安全の確保、分権型社会の進展など、社会経済状況は大きく変化しています。

私たちは、これらの直面する課題に果敢に挑戦し、魅力ある岸和田を次の世代へ確実に引き継ぐ使命と責務があります。

今やその名を全国に馳せ、岸和田の代名詞ともなっている「だんじり祭」は、時代や社会が変化

する中にあっても約300年もの間、親から子へ、子から孫へと連綿と受け継がれ、祭には、主人公である市民はもちろんのこと、岸和田という地域社会全体が躍動感に満ちあられます。

岸和田の多様な産業や豊かな歴史と文化を継承しながら、新たな時代を切り拓いていくためには、だんじり祭に象徴されるこの「躍動感」こそが、今、岸和田に求められているものです。

そこで、様々な人が出会い交流し、そこに子どもたちの笑顔、若者たちや働く人のエネルギー、高齢者や障害者の生きがいなどがあふれ、人もまちも元気で、躍動感のあるまちを目指し、「元気あふれる躍動都市 岸和田」を将来像とします。

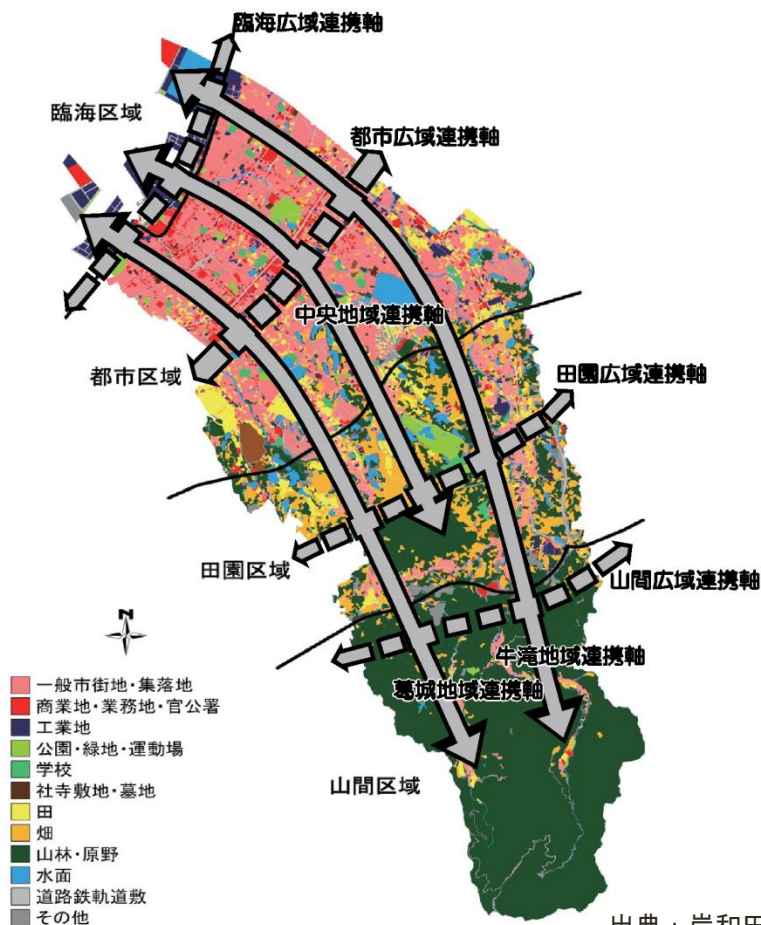


1. まちづくりにおける将来像について

(2) まちの骨格となる軸の設定

○ 帯状に形成された4つの区域を結び、人、物、情報が流れ、様々な交流と活動の活性化を図るために市域内を結ぶ「地域連携軸」と、大阪都心部と関西国際空港や和歌山とを結ぶ「広域連携軸」を設定している。

■ まちの骨格となる軸と土地利用状況（平成22年）



■ 広域連携軸

軸の機能		主な路線名
臨海区域と都市区域の発展に寄与する軸	[臨海広域連携軸] 臨海区域で 市内外を結ぶ	阪神高速4号湾岸線 府道大阪臨海線
	[都市広域連携軸] 都市区域で 市内外を結ぶ	府道堺阪南線 南海線（鉄道） 国道26号 JR阪和線（鉄道） 府道大阪和泉泉南線 〔都〕大阪岸和田南海線 〔都〕泉州山手線
田園区域と山間区域の発展に寄与する軸	[田園広域連携軸] 田園区域で 市内外を結ぶ	〔都〕泉州山手線 国道170号
	[山間広域連携軸] 山間区域で 市内外を結ぶ	阪和自動車道

■ 地域連携軸

軸の機能		主な路線名
海と山をつなぎ、市内の交流・活動の発展に寄与する軸	[葛城地域連携軸] 葛城の谷沿いに 市域を結ぶ	府道岸和田港塔原線 〔都〕岸和田土生郷修斉線 津田川水系
	[中央地域連携軸] 市の中央部で 市域を結ぶ	府道春木岸和田線 〔都〕岸和田中央線 春木川水系
	[牛滝地域連携軸] 牛滝の谷沿いに 市域を結ぶ	府道岸和田牛滝山貝塚線 牛滝川水系

出典：岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）（岸和田市 平成23年3月）

1. まちづくりにおける将来像について

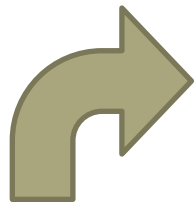
(3) 多彩な魅力と活力を備えたまちづくり

○ 山から海までの地形と生活文化が生んだ豊富な地域特性のもと、さまざまな産業と交流の場がある。この豊富な資源を活かし、多彩な魅力と活力を備えたまちづくりを進めていく。

取り組むべき方向性

本市が、都市活力を持ち続けるためには、市内産業の活性化や就業機会の充実、また市内外の人々とのさまざまな交流の活発化が求められます。産業振興・観光振興・農業振興等の施策との一体的な施策展開のもと、多様な分野の産業と多様な交流が展開されるまちを目指します。

そのため、既存産業の振興を図りつつ、大学や企業等の交流連携を促進し、地域資源を活かした新たな取組や産業の育成を図るため、適切な土地利用の規制・誘導、市街地開発事業や地区計画等の活用を通して、拠点の形成・充実と、広域的交通網及び市域内交通網の充実を図ります。



【施策体系】

- (1) 都市型産業の振興と交流のための拠点づくり**
 - 1) 工業拠点の形成
 - 2) 都市拠点の形成
 - 3) 地域拠点の形成
 - 4) 生活拠点の形成
- (2) 農林漁業の振興とふれあい環境づくり**
 - 1) 優良農地の保全と活用
 - 2) 樹林地の保全と活用
 - 3) 漁業資源の保全と活用
- (3) 地域資源を活かした観光と交流の環境づくり**
 - 1) 歴史・伝統資源の保全と活用
 - 2) 自然・スポーツ・文化資源の活用
- (4) 交流と連携を高める交通網づくり**
 - 1) 広域的交通網づくり
 - 2) 交流と回遊性を促進する交通網づくり



2. 将来都市構造

(1) 基本理念

- 本市では様々な人が出会い交流し、そこに子どもたちの笑顔、若者たちや働く人のエネルギー、高齢者や障害者の生きがいなどがあふれ、人もまちも元気で、躍動感のあるまちを目指し、岸和田市まちづくりビジョン（第4次岸和田市総合計画）の目指すべきまちの姿である「元気あふれる躍動都市岸和田」をまちづくりビジョンの将来像とする。本市のめざすべき将来都市像の実現に向け、まちづくりと一体となった交通施策のための基本理念を以下に示す。

基本理念

元気に生活・活動し、安全・快適に移動ができる交通インフラの形成

基本方針① → 子どもから高齢者までいきいきと健康に暮らせるまちを支える交通（案）

- ・ バリアフリー化の推進
- ・ 自転車走行環境の改善
- ・ 少子高齢化に対応した交通体系の構築 等

基本方針② → 環境にやさしく、にぎわいと活力を支える交通（案）

- ・ 自動車中心から公共交通への転換
- ・ 交通結節点や乗継拠点の整備 等

基本方針③ → 定住化や来訪機会を促す魅力あるまちを支える交通（案）

- ・ 都市計画道路等の整備推進
- ・ バス路線の見直し 等

3. 基本方針

(1) 岸和田市の現状・問題と目指す理想像

○ 交通まちづくりアクションプランの基本理念に基づいた目指す将来都市構造を踏まえ、現状・問題とあるべき姿を整理し、以下に交通まちづくりの基本方針を示す。

岸和田市の現状・問題と目指す理想像①

現状・問題

年をとって、自動車を運転できないから、外出が減った。友人と会う機会もなくて、さびしいなあ。

子供を連れて、毎日買い物に行きたい。でも、バスは周りの人に気をを使うし、自転車も危ないときがあるし・・・。

※

※

※



あるべき姿

バスで友人と一緒に楽しくおでかけ！孫と一緒にバスで出かけることも増えた！

いつも子どもと一緒に、バスや自転車で楽しく買い物が出来る！

**基本方針① → 子どもから高齢者まで
いきいきと健康に暮らせるまちを支える交通(案)**

※空白の箇所については、委員様のご意見を頂きたいと考えております。

3. 基本方針

岸和田市の現状・問題と目指す理想像②

現状・問題

駅前に買物に行くにも、途中の道中で自転車とぶつかりそうになった。安心して買物に行きたい。



電車で岸和田まで遊びに来たけど、駅からどうやって行けばいいのかなあ？



※



※



※



あるべき姿

駅へとつづく歩道が歩きやすくなったから、安心して子どもやおばあちゃんと買い物に行く機会が増えた！

初めて電車で岸和田に来たけど、バスや自転車で楽しく回れた！今度は牛滝に遊びに来よう！

※

※

※

基本方針② → 環境にやさしく、にぎわいと活力を支える交通(案)

※空白の箇所については、委員様のご意見を頂きたいと考えております。

3. 基本方針

岸和田市の現状・問題と目指す理想像③

現状・問題

世界かんがい遺産に登録された久米田池を見たいが、道が複雑で行き方がよく分からない。



お義母さんが入院。パパは平日仕事だし、少し離れた病院までお見舞いに行くのが一苦勞。



※

※

※

あるべき姿

地図を見てみると久米田池から岸和田城もそんなに遠くないし、思ったより行きやすいそうなので、帰りに寄ろう！

病院まではバスで行けるから、毎日お見舞いに行けるわ！

※

※

※

基本方針③ → 定住化や来訪機会を促す魅力あるまちを支える交通(案)

※空白の箇所については、委員様のご意見を頂きたいと考えております。